

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 30日

福井市長 殿

提出者

住所 福井県福井市西開発四丁目422番地

氏名 有限会社 吉本重建
代表取締役 吉本陽子

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0776-53-0595

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社 吉本重建
事業場の所在地	福井県福井市西開発四丁目422番地
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	D07 職別工事業(設備工事業を除く)
②事業の規模	
③従業員数	13人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ○金属くず、ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず <ul style="list-style-type: none"> -処理業者(再生)へ委託(再資源化) ○廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず <ul style="list-style-type: none"> -焼却(燃え殻は最終処分) -処理業者(再生)へ委託(再資源化) ○ゴムくず <ul style="list-style-type: none"> -処理業者(再生)へ委託(再資源化) ○がれき類 <ul style="list-style-type: none"> -処理業者(再生)へ委託(再資源化) -処理業者へ委託(最終処分)

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図) 別紙①「産業廃棄物処理に関する組織管理図」のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙②のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙②のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙③のとおり	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙③のとおり	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

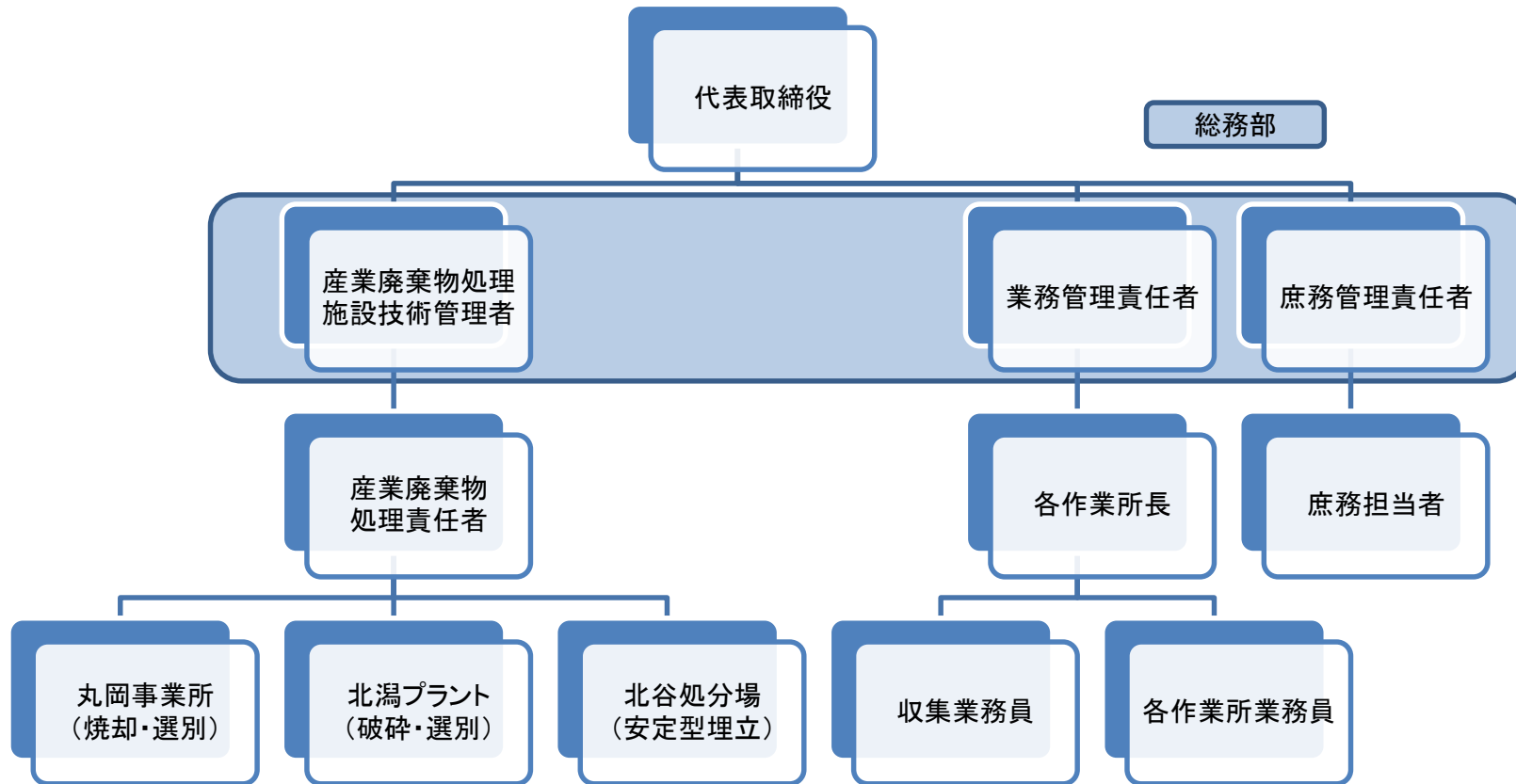
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙④のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙④のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理に関する組織管理図



別紙②

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	繊維くず
	排出量	49.88t	1.68t	327.96t	379.05t	80.08t	1987.2t	5.31t
	(これまでに実施した取組)							
	産業廃棄物の再生利用を推進して、Co2排出を抑制している。							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	繊維くず
	排出量	50t	1.5t	300t	400t	100t	2000t	5t
	(これまでに実施した取組)							
	今後共、産業廃棄物の再生利用、減量化、適正処理を推進する予定。							

別紙③

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	8.12t	0.05t	146.2t	4.19t
	(これまでに実施した取組)				
<p>焼却については、廃棄物を乾燥させて熱量発生を抑制させる事を実施。</p>					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	8t	0.05t	150t	5t
	(これまでに実施した取組)				
<p>引き続き、熱量発生を抑制させる予定。</p>					

別紙④

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	繊維くず
	全処理委託量	41.76t	1.63t	123.05t	21.81t	80.08t	175.69t	1.12t
	優良認定処理業者への処理委託量	2.05t	0.01t	36.08t	0t	16.01t	0t	1.04t
	再生利用業者への処理委託量	37.9t	1.62t	120.3t	21.81t	72.54t	119.64t	0.96t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	(これまでに実施した取組) 再生利用業者を出来る限り選定し、委託基準や法令を遵守した上で、委託業者の処分方法、処分能力を確認して処理を委託している。							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	繊維くず
	全処理委託量	40t	1.5t	150t	20t	100t	180t	1.5t
	優良認定処理業者への処理委託量	2t	0.1t	40t	0t	20t	0t	1t
	再生利用業者への処理委託量	40t	1.5t	120t	20t	80t	150t	1t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
(これまでに実施した取組) 今後共、当該委託業者については、定期的に現地確認を行う予定。								